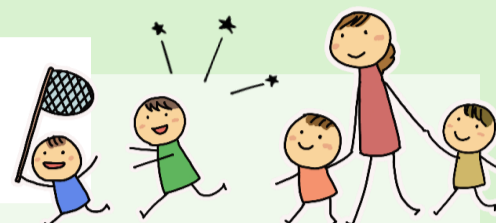


植月(うづき・うえつき)や種月(うづき)が
転じたとも言われ、田植えや種まきの時
期に由来するとされています。

てくてく情報

何種類知っている? 公園で見られるスミレたち♪



ちいさな野の花「スミレ」♪見分け方を知ると植物観察がもっと楽しくなりますよ☆

スミレは世界に約450種が知られ、春の花壇を彩るヨーロッパ原産のパンジーやビオラもその仲間です。日本にはおよそ80種類が自生し、いずれも多年草のため、同じ場所で毎年姿を見ることができます。ここでは、公方公園で見られる約9種類のうち、4種類を取り上げ、葉や花の特徴をもとに分かりやすく紹介します。また、観察の際に知っておくと便利な、花の各部の名称についてもあわせて紹介します。

①スミレ

草丈5~15cm程度。舗装されたアスファルトの割れ目からも顔をだすたくましいスミレ。



直径約2cm。紫色の花弁で濃い紫の筋が入る



尖った長い葉が根の隙から直立するように出ている

②ツボスミレ

草丈10~25cm程度。花期が遅いスミレで、5月過ぎにもしばしば見られることがあります。



直径約1cm。白く唇弁に紫色の筋が入る。



少し長いハート形で切れ込みが深い

③アリアケスミレ

草丈は5~15cm程度。少し湿ったところを好みます。踏まれても枯れない強いスミレです。



直径約2cm。白く唇弁に紫色の筋が入る。



長い楕円形で光沢があります

④マルバスミレ

草丈は5~15cm程度。花も葉も丸みを帯びて、白い花とともにかわいらしいスミレです。



直径約2cm。白く唇弁の筋も小さいので白さが目立つ



丸いハート型で、縁のギザギザも丸い

花各部の名称

上弁(じょうべん)

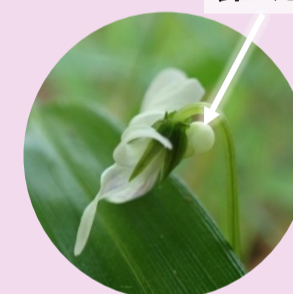


側弁(そくべん)

側弁

唇弁(しんべん)

距(きょ)



園内マップ



2 今月の鳥 - アオゲラ



口笛のような声の主は、アオゲラというキツツキです♪

アオゲラは全長約29cmの、日本固有の大型キツツキです。背中や翼は暗い緑色で、腹には波状の横じま模様があります。顔に赤い斑があり、オスは額から後頭部まで赤く染まるため見分けやすいのが特徴です。鋭いくちばしで木を掘って虫を探し、特にアリをよく食べます。巣穴は大木に自分で掘り、繁殖期には「ピョー、ピョー」と笛のような声で鳴きます。

木を叩くドラミングは、エサ探しのほか、縄張りの主張や求愛の意味もあります。キツツキがつつくのは虫に弱った木が多く、健全な木を傷つけることはほとんどありません。害虫を食べて森を守るため、林業にとっては益鳥とされています。



Instagramアカウント



Xアカウント



⑤アオゲラ